



「三重ぐるり」のコーナーでは、毎月テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【地域安全】。自治会活動や地域安全のため活動を行う団体を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

和みの会

情報提供：みえきた市民活動センター

いなべ市藤原町上相場



交流会の様子です

高齢者の方たちに、月2回の給食づくりと安否確認もかねた配食のサービスからまりました。ボランティア4人からの活動でしたが、少しずつ関わってくださる方が増えました。社協のふれあい事業や自治会からの助成金をいただきながら、いなべ市米野、30数戸の小さな集落で、年に4回、お年寄りを招待して、交流会をひらいています。手作りの出し物、指あそび、紙芝居、大型絵本の読みきかせ、ボランティア総出演によるスコープ三味線「きよしのズンドコ節」の演奏をしたり、外部の方にも出演していただいたりもしています。いつも参加されている方が、他の方をお誘いくださることが増えました、誘い合い、お声かけは心強く感じ、感謝の気持ちが一杯です。高齢の方は家の中で引きこもりになりがちです。心身ともに健康のために、できるだけ外に出て、皆さんと話をされる事が大切だと思います。私たちは少しでもその機会をつくろうと思ひ活動しています。

いなべ市の社協さんや市民活動センターにお問い合わせください。

「みんなが主役！」の和みの会です。どの会の時も、笑いあふれ、参加者同士の交流がたっぷりできて、「楽しかった〜!!」と言ってもらえるのが、私たちの次の活動へのエネルギーとなっています。

四日市市自治会連合会

情報提供：四日市市なやプラザ

四日市市諏訪町1-5 四日市市役所北館1階 ☎ 059-354-8287



ロングビーチ市研修風景

【コミュニティリーダーの育成について】四日市市自治会連合会は、715の町自治会があり、市内の約12万世帯のうち、10万世帯が自治会に加入しています。加入率は、85.2%で、この加入率は、全国的にみても高く、市民の声として充分反映することができています。近年、日本人の価値観を変えるほどの大きな自然災害が多発しており、そのたびに、「地域の絆」の大切さが重要視されています。そんな中、日々の生活の中で最も身近なコミュニティである自治会も見直されてきています。これからの課題として、自治会長の高齢化や成り手不足があり、若い世代の地域リーダーの発掘、育成を図り、地域活動を活性化していきたいと考えています。昨年は、四日市市の姉妹都市である米国カリフォルニア州ロングビーチ市が行っている地域づくりに向けた人材育成に関する取り組み（コミュニティ・リーダーシッププログラム）が全米で高く評価されていることを知り、会の代表者が、ロングビーチ市を訪問し、地域づくりリーダーとしての資質の向上、意欲や意識の高め方や住民参加を促す企画、運営手法等のプログラムを研修してきました。今年度は、市が実施している人材育成講座（マイスター養成講座）等に、学んできたプログラムを組み入れて、担い手の発掘・育成に反映し、また各地区で、研修会を開催する予定をしております。

地域性や経験だけで、自治会長をしているのでは難しい時代になってきているので、多くの方々の声に耳を傾け、地域が何を必要としているのかを、敏感にキャッチできる地域のリーダーを育成し、自治会活動に役立てたいと思っています。

松阪市第四地区住民協議会

情報提供：松阪市市民活動センター

松阪市石津町 21 (第四公民館内) ☎ 0598-52-1854



子育て支援「ひよっこひろば」は、地域のママたちが中心となり、定期的に開催している。

松阪市の住民協議会は、地方自治を推進するために概ね小学校区ごとに設立された自治組織です。第四地区住民協議会では「地域の子どもは地域で育てよう！」というスローガンのもと、地域全体で子どもの成長を支える取り組みに力を入れています。例えば、学習支援活動として、月2回地元のボランティアが小学校へ出向いて算数の基礎を教えたり、住民と子どもの交流事業として、地域に住む外国人家族に自国の料理を教えてもらいながら一緒に作ることで交流を深めたり、有志の住民が第四小学校の下校を見守る活動を行うなど、幅広い取り組みを行っています。子どもを中心に日頃の声かけや見守り活動に力を入れ始めたことで、住民全体が活気づき、地域の絆や繋がりが深まりつつあるそうです。

昨年からは未就園児と保護者を対象にした子育て支援のサロンも始めました。地域の大人と関わり合いながら育つことで、将来、子どもたちが地元を離れることがあっても「また帰ってきたくなる第四地区」の土壌が育まれていくと考えています。

紀宝町津本自主防災会

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

三重県南牟婁郡紀宝町大里 221 番地 ☎ 090-5891-5507 ✉ o.yasuko@zb.ztv.ne.jp



担当者への連絡、関連企画への参加

2011年9月の台風被害を受け、苦労したこと、うまくいかなかったことの経験を生かすべく、2012年4月に「津本自主防災会」が立ち上げられました。構成員は、同地域に住む139世帯321人。拠点である「津本防災センター」を中心に活動しており、外部講師を招いた防災ワークショップや応急救命講習の場を設けたり、参加できないメンバーに共有するために毎回細かに記録したりと、地域が一丸となって地域防災に取り組むことを目指し、意欲的に活動しています。また、緊急時に点検・管理の不備がないよう、同センターを常時から多目的スペースとして活用しており、日常のちょっとした変化にも気付けるように備えています。一度自分たちが被災をしていること、そして同地域に小学生を含む子どもが多く住んでいることから、災害に対する危機意識が非常に高く、積極的に学び、行動する姿勢が高く評価されている団体です。今後は地元の学校と連携した防災訓練なども予定しています。

担当者への連絡、関連企画への参加で、ご参画いただけます

結成から3年経ち、地元の小中学校と共同開催での防災訓練の実施が決まり、目標がようやく定まりました。メンバー間の団結が今後更に深まる雰囲気が出てきたので、住民一丸となりしっかり取り組んでいきます。